

左義長体験

三上小学校 地域学校協働活動

1月11日（木）

三上小学校全学年の児童が、習字を竹組の中に入れました。また、三上こども園の園児も一緒に見学しました。

左義長は全国的な火祭りで、どんど焼きとも呼ばれます。昔とはあり方が変わったこともあります。「子どもたちに楽しんでほしい」と、前日の昼ごろから同窓会や地域の方が竹を切り出すところから準備をしてくださいました。

左義長には、しめ縄やお札を入れて無病息災や五穀豊穡を願う他に、字が上手になるという願いを込めて習字を入れる習わしがあります。初めに6年生が寝かせた状態の竹組に習字を入れ、力を合わせて左右から引っ張る「竹立て」を体験しました。その後、他の学年の児童たちが習字などを地域の方たちと一緒に入れました。

地域の方たちから左義長についてのお話や、「火は扱いによっては大変なことになるけれど、必要なものです。火を大切にしてほしい」という思いを聞いたあと、児童たちは竹組の周りに輪になって並び、代表児童が点火しました。

「めっちゃ高い！」「あったかくなった！」と、児童・園児たちは竹のはじける音に歓声を上げて話しながら、勢いよく燃える様子を、最後まで見つめていました。

